

卓球、無差別戦

えー、今日はいきなり本題に入りますが。
最近流行のスポーツと言えば・・・何でしょう？

よく、ちまたで話題になっているでしょう？皆さんも、ちよくちよく、やるでしょうが・・・えっ、ウォーキング？あれ、スポーツだったの？あーあ、何故か、皆さんの頭に浮かぶのは大体想像できちゃうんだなー、悲しいことに・・・でも、違うんですなー。

そう！そうです。卓球です・・・納得いかない人、ハイ！・・・ほらー。大体、野球とかサッカーとか、思ったでしょ！落語では、そうはいかないんですな。

エッ、相撲かと思った？・・・それは近い！おしかったですねー。個人戦ですから、近いわけです。

ところが卓球には、ダブルスというのがありますね。相撲でダブルスしたらどうなります？・・・(首傾げる)

稀勢の里と高安が組んで？・・・相手は、白鳳と日馬富士ってか？・・・あれ？・・・ちよつと待ってよ。意外に面白そうじゃない・・・時間前にー？稀勢の里と高安が作戦会議してエ？サイン出して塩蒔いた？・・・で、仕切はどうすんのよ・・・白鳳と日馬富士が横に並んでかまえたから？稀勢の里の後ろに、高安が縦にかまえるかって？いいな、その作戦も・・・なわけないでしょ！それはプロレスでしょうよ。ほらー、いきなり本題からはずれちゃったよー。

とにかく卓球は大ブームなんです。見ました？世界卓球。

メダルラッシュで凄かったですねー。中学生の張本君、天才だね。まだ、13歳よ。世界ランキング3位の中国選手の試合、おしかったなー。まっ、とにかく早い。高速卓球で、相手のスマッシュを、こうしてバックハンドでピュッ、パチーン『ヨッシャー』・・・だったか『シャーッ』・・・だったか、気合凄かったも、カッコ良かったなー。

中国人は大体『トーツ』とか言ってる、こんな風にするわけよ。『トーツ』、『トーツ』ねっ。そこのお客さん、そうじゃないの。肩をこうして、腕を下げて『トーツ』ねっ。やりづらいでしょ？お客さんも日本人なんだな。ウフ！・・・(手で笑いを堪える)

私も『トーツ』は好きじゃないね。やっぱ、どっか違うんだなー。日本人は『ヨッシャー』でしょ。ちなみにドイツ人はどういうか知ってます？・・・『シャーッ』なのよ。つまり国際語になりつつあるのね。まっ、そのくらい強くなってるってことなんです。

しかし、卓球、変わったな。もう、格闘技なのね。．．．
つまり、ケンカよケンカ。これから温泉卓球も変わりますよ。
やばいよ。大ゲンカになるからね。．．．あれ？．．．冗談じゃないの
よ、知らないの？．．．小遊三師匠卓球やってるでしょ？頭の後ろ
にある傷知ってます？．．．あれね！内緒ですけど、温泉卓球の傷な
んです。しばらく高座にでない時あったでしょ。頭の血が止まんな
くて、大変だったのよ。ようやく血イー止まって、変りましたよね？
血の気ひいて、スッキリしたでしょうが．．．アラッ？．．．まーた、
本題から外れちゃった。

あの張本君ね。次は絶対勝つね。うん！間違いない。

これだも、これ！（ラケット振る。バックハンド、フォアハンド）

『シャーッ』だも。中継しながら私もバシバシ振りましたモ。

『そこだーッ』って、振ったら、ちやぶ台に手えぶっつけて痛か
ったのなんのって．．．でも、そんなこと気にしてられないの。すぐ
に美宇ちゃんの試合でしょ！また、ぶつけちゃまずいってんで、こ
うやってタオル撒いて、観戦準備したもんねえ。

平野美宇ちゃんも早いよー、高速卓球美少女が代名詞ね。かわい
いんだなあー、髪が乱れるから、こんな風に止めピンで髪を止めて
さ．．．『サッ』とか何とか、構える時言ったっけ？言わない。アッ、
そう。

チョットと、そこのお客さん！サーブするから、こんな風に返して
くれる？いい？いきますよ、ほい．．．こうきた玉を、こうして、こ
うしてえースマッシュして、『シャーッ』だも．．．いやー強いのが
んのって、スマッシュ決まるとスーッとするね。見てると熱が入っ
て喉が渇くでしょうよ。でも、テレビから目は離せないでしょ。

ちやぶだいの湯呑に、こうして、手伸ばして呑んだら、
「アアッチー。アッチーッな、知ってんだろ、猫舌！」って、
女房に怒鳴ったら、「アラ、それ私のよ」だって．．．

とにかく手え怪我しようが、舌火傷しようが、まあ、盛り上がった
ね。

混合ダブルスも良かったねー。カスミちゃん金メダルおめでとう。
カスミちゃんうれし涙するから、私も、もらい泣きしました。グス
ッ！．．．決定打を決めた後ね、吉村君に駆け寄って．．．思わず私も
抱きしめて、『おおー、よし、よし』しちゃいました。いいな、吉
村君。そんな時、運悪く女房と目が合って、むなしかった。

なんで日本卓球が凄いかというと、メツチャ若いのね。まあ、張本君13歳でしょ、ミウちゃん16歳、伊藤ミマちゃんが15歳、それだけじゃないんです。若い新人がゾロツと控えているんですな。ダブルスでミマちゃんと組んで、銅メダル取った早田ヒナちゃんね！同じく15歳だつてエー。私も知らなかった新人なのよ。

なんだろう！・手え長い？足長い？サーブいい？スマッシュいい？守りがいい？そして大事なのが、かわいいときた。

何拍子揃ってるんだーって聞きたいくらい、いいのよ。特に守りがいいのね！相手のスマッシュが端っこにきても、こんな風に、（横に倒れながらラケット振るしぐさで寝ころぶ）長い手えで、返しちゃう。こっちにきても、こうして、こう？・いやー驚いたねー。大物新人だね。私なんか、カスミちゃんから乗り換えたいと思ったモ・わりいけど・

タイムの時なんか、かわいいねッ！タオルで汗ふいちやつてサ！・うるさそうな監督の指示を、ウン、ウン頷いちやつてサ。目がキラキラツとして、いいよなー。おちよぼ口でチビツと水飲んだりして・飲み残しのペットボトルどうすんだろつて・エツ、『思わない』・

あのタオル欲しいよなー・ん？疑っちゃダメよ。タオルのデザインがいいのね。私は小遊三師匠と違いますから・

でも、今の卓球は派手ですよねー。昔なんか想像もつかないくらい変まりましたモねー。プロリーグもあるでしょう。将来ある選手は、ドイツリーグや中国リーグに行ったりして、結構、稼いでいるの知ってます？

二三年で蔵立ちちゃうくらい賞金も凄いですよ。いいよなー。愛ちゃん初め、皆、親まで動員してるの頷けるでしょうが。実は・ウフ、うちの子どもにも、ヘッヘッへ、内緒。

しかし、この前の世界戦、派手だったなー。選手入場なんか、会場暗くしてスポットライト当てたり、火吹いたり、ドライアイスで煙り出したりと、ボクシングのチャンピオン選手権に負けませんかねッ。ユニホームも年々派手になってくるしー。この先、どうなっちゃうの？って期待するのも無理ないでしょうよ。

楽しみだなー。

その内、マント着て入場しますね、きつと。マント脱いだら、金銀ラメでピッカピカして相手を脅かす。または、ミニスカね・派手にショウアップするわけよ。レーザー光線に合うでしょうが！

多分、タイガーマスクだとかデストロイヤーだとか、マスクマンも出るな・・タイムアップで観客は、風船飛ばしたりね。シユー、ピロピロピロとか、ネッ・・ダメ、ダメ、お客さん。そんなんで驚いちゃ、時代に着いていけませんよー。

無差別級ってのも、当然、出てきますから・・

エッ、どうすんだって？そんなの決まってるでしょうよ。日本対中国戦、国の名誉を掛けて対戦するわけよ。だから、優勝賞金も高い。億です。最低3億円くらいかな？エッ、ルールを知りたい？・・

無差別ですから、選手は何人出てもOKなんです・・各チームの強い者達が総出で戦うわけね。もちろん、賞金は山分けよ。5人対4人でもいいし、6人対3人でも、とにかく勝てばいいわけ・・6人がこうやって、6つのラケットで壁つくったりしてね。でも、人数多いから有利とは限らない。エッ、おかしい？

なあーに言ってるんですか、こんなんで驚いてどうすんですか。

無差別には、B級、A級、特A級もあるんですッ！・・驚いてますね・・皆さん知りたそうな顔してえー・・

どう違うかってんでしよう？

特別に、お教えしますが、私が言ったことは内緒にしてくださいね・・実は、これを考案したのは、私の先輩で、かなり気合入ってます。やきもち焼きでねッ、やばいんです・・それは誰だと、それも聞きたいのもわかります。

ですから、この話の最後にね！・・教えますから・・

それでは、と・・(キョロキョロしてから) B級はくくくです。

(口真似だけで声出さない)

ハッハッハ、お客さん、今こんな顔してましたよ。(口を開けてポカンとした顔、真似る)

で、A級は、というと、玉をこれ！(指2本出す)だから、特A級は当然、玉が・・(指3本出して、口にシー、と指する)・・ネッ、難しいのわかったでしょう。B級もわかったよね。

実は私、中学の時卓球クラブだったのね。興味本位からなんだけど、B級は、もうすでに経験済みなんですー。

ダブルスは、やってましたから、こんな風に、これ、これってサイン出して、相棒が首振ると、じゃあ、これ？(サイン出したり、首振ったり、相棒とのやり取り可笑しくジェスチャーする)・・じゃあー、どれなんだよ。なーんて、たまに仲間割れする・・マッ、いろいろな作戦でサイン出しますよね。

相棒が、突っつきサーブ出すけど、切れない玉だよ。と、サインに出せば、相手の返す玉がフワツと浮いたりするのね。それを私が狙ってパシーンとスマッシュして、『ヨッシャーッ』『いたただき』とか、なるわけ。

ただし、ダブルスは2人交互に打たないとダメだから、例えば、伊藤ミマちゃんがサーブを出したとします。相手がサーブ出した人の方へ、返したりして意地悪すると、ミマちゃんはそれを打てないわけよ。だーかーら、ヒナちゃんが長い手え伸ばして、こんな風に返すから、かわいいのね(寝ころんで、かわいい顔する)・・・あら？・・・エッ、『B級どうなった？』って？

ヒナミマ2人だけじゃ、やっぱりダブルス忙しいでしょ。だーかーら、3人にするわけよ・・・マツ、4人でもいいかな。じゃあ、5人でやったらどうなるの？と、自然にB級が濃厚になるでしょ・・・バカだなーと思うかもしれないけど、若いから誰でもB級試すんだなー、これが・・・

エッ、『やったことない・・・どうなるんだ？』って？

当然、練習試合やってみたさー。卓球台の両横に前衛2人おくでしょ、正面には3人。都合5人。敵方は3人さ。人数多いからダブルスの欠点はなくなってる、まあ、まあ、面白いっちゃ、面白い。でも、3人野郎に勝てないのよねー・・・なんですか？

そう！そうなんです。われ先にと目立とうって奴がいると、ラケットぶつかってメチャクチャになるわけね。あの当時は皆下手だったからしょうがないんだけど。

じゃあ、世界レベルでやったらどうなるの？って、誰でも考えるでしょうが。考えない！アツ、そう。

そこが落語家と違うんだなー。先輩が、すぐ試そうって言ってる、若手落語家を10人近く集めて、熱海の潰れかけた元保養所に行つて、やりましたよ。卓球経験者は6人いて、マイラケット持っている奴が5人もいたな。

まず、3人对3人。まあ、なかなか理に適ってる。4人对4人、これも、まあまあ、かな。4人对3人とか、5人对3人とか、いろいろやったけど、5人組の中で、休んでいる奴もいるから、よくわかんないのが、本音だな。

そこで、休めないようにと、先輩が玉2つにした。確かに、休めないけど体がぶつかると、同じ人間が2度続けて打っても良いと

いうルールに、先輩が勝手にルール改正するわけよ。

そしたら、先輩が、気持ち悪くにやけて、

「いけるんでないかい！ウフ・・・」なんて言って、嬉しそうなんだ。いつも変な事ばかり考えている人だから、何がいけるか、さっぱりわからなかったね。

すると、すぐ玉3つにしようと言うんだよ。2つで、メチャ忙しいのに、3つは大丈夫かよと思つたが、先輩だし逆らうわけにもいかない。落語社会きびしいし、しかたねえか。と気乗りしなかつたけど、二ツ目小僧が、『いいですねー』とか、おべっか使つて、更に喜ばしやがつた。

3つやってみると、もう大変、空中で玉がぶつかるし、卓球らしくならない。私も呆れながらもやりましたけど、先輩は、

「それ、それーッ」とか言つて、面白がるし、卓球にならない。まるつきし、ピンポンパンよ。どうしても玉が浮いちゃうのよねー。

そこにきた絶好球を、こう待ち受けて、「シュッ」と私がラケット振つたら、頭出した先輩の頭をスカーンと打つた。バタツと倒れた先輩を見ると、頭から血イ出して失神しちゃつたのよ・・・

アラッ？・・・実は・・・小遊三師匠の頭の傷ね、あれ、（自分を指差す）ネツ・・・本人は気絶してたから知らないのッ。だから、コレよ、コレッ、（口に指当て、シーッ）

「ネツ・・・さッ、早く帰んなくちや」

そこに、小遊三師匠が出てきた。

座布団被つて逃げ回る、退場。